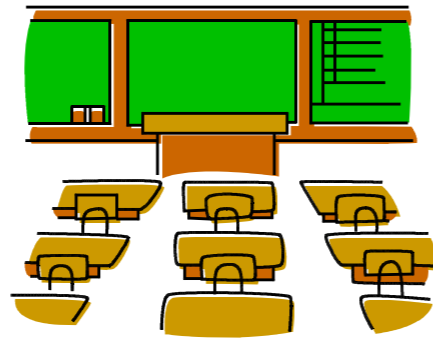


船引小学校 「学習のきまり」

学習の準備



1 筆箱の中

- 削^{けず}ってある鉛筆^{えんぴつ}を5本以上入れておく。
- シャープペンシルやロケット鉛筆は使^{つか}わない。
- 鉛筆のほかに、赤^{あか}・青^{あお}鉛筆（赤・青ペン）・消しゴム・15cmくらいの定規^{じょうぎ}を入れておく。
- 低学年^{ていがくねん}は、2B・Bの鉛筆、中^{ちゅう}・高学年^{こうがくねん}は、B・HBの鉛筆を使う。カラーペンなどは、必要^も以上に持^もってこない。

2 机の中

- 右側^{みぎがわ}に教科書^{きょうかしょ}・ノート類^{るい}を置^おく。
- 左側^{ひだりがわ}には、のり^{のり}・はさみ^{はさみ}・色鉛筆^{いろえんぴつ}・クレパス^{クレパス}・フェルトペン^{フェルトペン}・「みんなの歌^{うた}」などの学用品^{がくようひん}を入れ、すぐ^{せり}に使^{つか}えるように整理^{せいり}しておく。

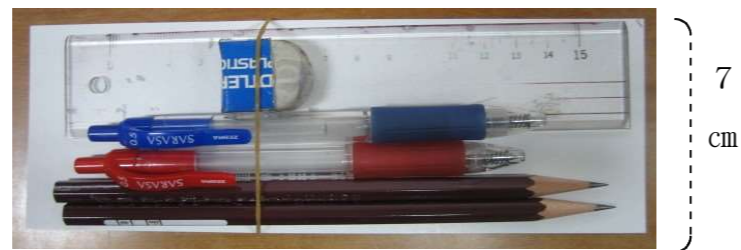


3 授業前

- 使^{つか}う教科書^{きょうかしょ}・ノート^{ノート}・鉛筆ホルダー^{えんぴつホルダー}を机^{つくえ}の上^{うえ}に出^だしておく。
- 着席^{ちゃくせき}し、よい姿勢^{しせい}で静か^{しず}かに待^まつ。

鉛筆ホルダー

- 台紙^{だいし}（たて7cm・よこ20cm程度）は、白ボール紙^{しろがみ}などで作る。
- 鉛筆2本^{えんぴつ}・赤^{あか}・青^{あお}鉛筆（ペン）^{ペン}・定規^{じょうぎ}・消しゴム^{けしゴム}を置^おき、輪^わゴム^{ゴム}でとめる。



20 cm

学習中

1 机の上

- 教科書^{きょうかしょ}やノート^{ノート}は、右^{みぎ}の図^ずのよう^{よう}におく。

2 話の聞き方

- 話^{はな}す人^{ひと}の方^{ほう}を向^むき、話^{はな}の内容^{ないよう}をとらえながら聞^きく。

3 発表の仕方

- 背筋^{せすじ}を伸^のばし、腕^{うで}は耳^{みみ}につけるくらいにまっすぐ伸^のばして、手^てを挙^あげる。
- 名前^{なまえ}を呼^よばれたら、元氣^{げんき}よく「はい。」と返事^{へんじ}をして、いすは入^いれず^{しず}かに立^たつ。みんなの方^{ほう}を向^むいて、みんなに聞^きこえるようにはっきりと発表^{はつぱつ}する。
- 順序^{じゅんじょ}立^だて、丁寧^{ていねい}な言葉^{ことば}で分^わかりやす^{やす}く発表^{はつぱつ}する。

4 ノートの書き方

- 姿勢^{しせい}や鉛筆^{えんぴつ}の持^もち方^たを正^{ただ}しくし、丁寧^{ていねい}に書^かく。
- めあては青^{あお}で、まとめは赤^{あか}で書^かく。



その他

- 授業^{じゅぎょう}の始^{はじ}めと終^{はつ}わりのあいさつは、着席^{ちゃくせき}のままです。
- 教室^{きょうしつ}から移動^{いどう}するときは、机^{つくえ}やいすを整^{せい}えてから整列^{せいれつ}し、廊下^{ろうか}の右側^{みぎがわ}を静か^{しず}かに歩^あく。
- 体育^{たいいく}のときは、脱^ぬいだ服^{ふく}をきちん^{きちん}とたたみ、体操着^{たいそうぎ}袋^{ぶくろ}の中^{なか}に入^いれる。

つくえ
(机の上) (左利きの場合は逆)

